

母校 智辯学園で「がん教育」

朝日新聞

2018年(平成30年)

12月20日

木曜日

奈良

母校・智弁学園中で「がん教育」 医師・梅村さん



和歌山県橋本市の紀和病院の乳がん専門医、梅村定司さん(52)が19日、母校の智弁学園中学校(五條市野原中4丁目)で「がん教育」の授業をし、3年生約110人にがんの正しい知識や予防の大切さを伝えた。

梅村さんは2009年、院内に乳がんの検診や治療を専門とする紀和プレスト(乳腺)センターを開設。予防のためには大人になる前の教育が大事だとし、橋本市内の全小学校の6年生に毎年1回、がん教育の授業をするなどの取り組みを続けている。母校の教壇に立つのは初めて。

テーマは「がんを正しく知り、正しく怖がろう」。

梅村さんは「2人に1人ががんになる」とわかりやすくデータを示したり、男性にはたばこを吸ったり酒を

飲んだり、食生活が乱れがちだったりする人が多く、がんになりやすいなどと説明。その上で「食生活の改善で70%予防できる」「検診で早期発見すれば9割治療できる」と重要な点を強調した。

尾上智哉君(15)は「祖母が今年がんで亡くなりました。専門の医師のすごい話が聞けて、がんで苦しむ人がいたら助けてあげたいと思いました」と感想を語った。

(福田純也)

奈良の母校でがん教育

橋本の専門医

橋本市の紀和病院の乳がん専門医、梅村定司さん(52)が19日、母校の智弁学園中学校(奈良県五條市野原中4丁目)で「がん教育」の授業をし、3年生約110人にがんの正しい知識や予防の大切さを伝えた。

梅村さんは2009年、院内に乳がんの検診や治療を専門とする紀和プレスト(乳腺)センターを開設。予防のためには大人になる前の教育が大事だとし、橋本市内の全小学校の6年生に毎年1回、がん教育の授業をするなどの取り組みを続けている。母校の教壇に立つのは初めて。



梅村定司さん＝奈良県五條市の智弁学園中学校

がんになる」とわかりやすくデータを示したり、男性にはたばこを吸ったり酒を飲んだり、食生活が乱れがちだったりする人が多く、がんになりやすいなどと説明。その上で「食生活の改善で70%予防できる」「検診で早期発見すれば9割治療できる」と重要な点を強調した。

締めくくりでは「きょうの授業を大人になっても覚えていてくれたらうれしい。何か生きがいを見つけ命を輝かせて」と述べた。

(福田純也)

和歌山

2018年(平成30年)

12月21日

金曜日